

授業科目 家族の支え

【担当教員名】 鈴木 未来	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○		

【一般目標：G10】

家族と社会のさまざまな集団とのかかわりを知る
望ましい家庭を築くための考え方を身につける

【行動目標：SBO】

1. 家族と家庭の違いを説明する
2. さまざまな家庭のあり方を調べる
3. 自分自身の望ましい家庭のあり方を表現する

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクションー「家族とは何か」を考える	1	講義
2	人間生活とは	2	講義
1	家族と家庭	1, 2	講義
4	家族生活の問題状況（1）	2	講義
5	家族生活の問題状況（2）	2	講義
6	望ましい家庭像を求めて	3	講義
7	家庭生活の諸条件	2, 3	講義
8	まとめ	1, 2, 3	試験

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	家族と家庭 望ましい家庭を求めて<第三版>	飯田哲也	学文社	2003・2,625円・授業では「第1部 家族と家庭」を扱う
参考書	現代日本家族論	飯田哲也	学文社	2001・2,415円
その他の資料				

【評価方法】

出席状況と定期試験

【履修上の留意点】